



リビング収納篇

間取りを自由に設計できる新築だから、
収納も計画的に作りたい…

“リビング収納”がオススメ!

リビングは、家族が集まる家の中心となる場所であり、その家の象徴ともなるような場所です。新築時には最も重視する空間の一つであり、人が集まる場所なので、できるだけ広くしたいと多くの方が考えています。その一方で、家族が集まる場所だけにモノがどんどん増えていくのも確かです。そこで、今回はリビングをすっきりキレイに見せる、「リビング収納」をご提案します。



リビング収納に収めたいモノ

まずはリビングで収納したいものから考えてみましょう。本や雑誌、CDなど趣味のアイテム。また映画を鑑賞したリライブ映像を楽しむためのDVD (Blu-ray)なども、整理しづらい小物です。また、クッションカバー・ソファカバー・ブランケットなど、季節で変えるインテリアアイテム、ティッシュや文房具などの小物、電池のストックやケーブルなども、リビングの近くに収納しておきたいものです。掃除機なども収納できるスペースがあれば便利です。

このようにリビングに集まるモノは大きささまざまです。また、家族で共有して使うモノも多く、失くしたら、見つけづらいモノもあります。



開放感を優先させてせっかくリビングを広くとったのに、かえって家具で狭く感じてしまったら意味がありません。

また、使う場所と収納スペースが遠く離れていたり、家族の行動の動線上に収納スペースがなかったりすると、リビングだけでなく他の部屋も散らかってしまう原因になります。

つまりリビング収納には、リビングが狭くなるように感じて、結果的にリビングをいつもキレイに、広く使えるというメリットがあります。

リビング収納のポイント

リビング収納(棚)の奥行は50~60cmくらいが便利です。簡単に取り出せたり仕舞えたりするのに程良いサイズです。小物をしまっ引きだしや棚を設置するとさらに便利に使用できます。奥行きが深いと収納量が多くなって使いやすいと思うかもしれませんが、リビングで収納するものは小物が多く、奥行きが深い引きだしや棚は出し入れがかえって不便になります。またハンガーパイプを設けて服を掛ける場合でも、この程度の奥行きで充分です。

最後になりますが、扉については引き戸や折れ戸が良いでしょう。リビングの空間を広く使え、扉を開けたままでも通路をふさがないので、子どもたちにとっても安全です。

リビング収納のメリット

最近では寝室に大型のウォークインクローゼットを設ける方がほとんどになってきましたが、リビングのクローゼットは、より利便さを実感できます。

ただし、リビングに専用の収納を作ると、その分リビングが狭くなるので、広さを優先する方が多くなりがちです。たとえば、リビング収納の代わりに収納専用の家具を設置する事もできますが、家具は存在感や圧迫感があり、かえって部屋が狭く見えてしまいます。広さや



迷ったら、経験豊富なハウスメーカーに聞いてみよう!

